



指揮 佐伯 正則 さえき まさのり

国立音大卒業。大学卒業後指揮活動をはじめ。

1999年～2000年仙台フィル副指揮者を勤め、外山雄三、梅田俊明両氏のもとで研鑽を積み、いままでに東京シティ・フィル、東京フィル、名古屋フィル等を指揮するほか、ヨウコ・ハルヤンネ、川田知子、近藤嘉宏各氏等、国内外の演奏家と共演するなど幅広く活動している。

オペラにおいては八ヶ岳音楽祭で「愛の妙薬」を指揮するほか、大田区民オペラ、新国立劇場等でG. アルブレヒト、飯守泰次郎、新田ユリ、宮松重紀各氏の副指揮者を務める。

またジュネス青少年音楽祭で円光寺雅彦氏のアシスタントを務めるほか全国各地のアマチュアオーケストラの指揮をし、ナズドラヴィ・フィルとは交響曲第1番の日本初演を含むドヴォルジャーク全交響曲演奏を達成する。

指揮を新田ユリ氏に、トロンボーンを佐藤菊夫、新立憲一、箱山芳樹各氏に、室内楽を北村源三、伊藤清両氏に師事。自由学園非常勤講師。日本ワーグナー協会会員。

名古屋シンフォニア管弦楽団

1982年に愛知県内のアマチュア音楽家有志によって結成され、2022年に創立40周年を迎えた老舗のアマチュアオーケストラです。音楽とアンサンブルをこよなく愛する、年齢も職業も様々なメンバーで構成され、年2回の定期演奏会を続けています。指揮者をはじめ経験豊富なプロの先生方による熱心な指導のもと毎週練習を重ね、お客様にも楽しんでいただけるような演奏会を目指して活動しています。

曲紹介

■シュトラウス2世作曲: 喜歌劇『こうもり』序曲

1874年にウィーンで初演された喜歌劇『こうもり』は、とある夫婦を取り巻く、コントのようなドタバタ劇です。コミカルなメロディが聴衆を高揚感とともに物語へ誘います。優雅なウィンナ・ワルツも魅力的な名曲です。

■ブラームス作曲: ハイドンの主題による変奏曲

1873年にウィーンで初演されたこの曲は、『ハイドン変奏曲』の略称や、変奏曲の主題に用いられた『聖アントニウスのコラールによる変奏曲』の別称でも親しまれています。木管楽器が奏でる素朴な雰囲気のある主題は8つの変奏に姿を変え、華やかな終曲がこの曲を締めくくります。終曲自体も変奏曲となっており、ブラームスの高い作曲技術を味わえる作品です。

■ドヴォルジャーク作曲: 交響曲 第6番 二長調

ドヴォルジャークらしいチェコの舞曲や民族らしさはもちろん、ブラームスの交響曲第2番のような、穏やかで牧歌的な雰囲気も楽しめます。ウィーン・フィルのために作曲され、1879年のウィーンでの初演時、ドヴォルジャークはブラームスの隣席で手応えを確かめていました。彼の代表作である交響曲第9番『新世界より』に比べて演奏機会にあまり恵まれない曲ですが、少し早く春の穏やかさを感じてみてはいかがでしょうか。



●会場アクセス 東海市芸術劇場 大ホール

東海市大田町下浜田137 ユウナル東海 4階
<https://www.tokai-arts.jp>

地下鉄: 名鉄「太田川」駅下車 南口すぐ

名鉄名古屋駅から中部国際空港・河和・内海方面の特急で約15分(名鉄金山駅から約11分)

●劇場地下駐車場もあります(140台)。2時間無料認証サービスをご利用ください。

感染症予防の ためのお願い

- 必ずマスクを着用してご来場いただき、手洗い、手指消毒など感染予防にご協力ください。
- ご入場時に37.5度以上の発熱が認められたお客様にはご入場をお断りさせていただきます。
必ず検温してからご来場ください。発熱のほか体調不良の場合もご来場をお控えください。
- 感染症対策の一環として、託児サービスならびにクロークでのサービス(お荷物や贈り物のお預かり等)を中止しております。当日、ロビーや楽屋での面会もできませんのでご了承ください。
- 状況によっては、やむを得ず公演を中止する可能性もあります。
最新情報は当団ホームページ<http://www.nagoya-sinfonia.jp>をご覧ください。

当団ホームページは
こちらから →



— 団員募集のお知らせ —

当団では私達と一緒に楽しく活動する仲間を募集しています。募集パート等は上記ホームページをご覧ください。見学も随時受け付けておりますので nyuudan-mado@nagoya-sinfonia.jp宛にお気軽にお問い合わせください。